

研究課題名	5年以上の長期フォローをし得た副腎偶発腫症例の臨床的特徴について
研究機関名	武藏野赤十字病院
研究責任者	所属 内分泌代謝科 氏名 早川 恵理
研究期間	(西暦) 倫理審査委員会承認後 ~ 2026年6月
研究の意義・目的	副腎偶発腫は副腎疾患を想定せずに施行したCT/MRIなどの画像診断において副腎に腫瘍を認めたものであり、腹部CT施行者の4~5%で見られるといわれる。内分泌活性のない非機能性腫瘍であり、なおかつ悪性腫瘍を疑わない症例では、経過観察を48か月か60か月まで行うとされているが、それ以降に生命予後に関係するような変化がないのかが懸念される。そのため今回は5年以上フォローした症例を検索しその臨床的特徴を検証することを目的とした。
研究の方法 (対象期間含む)	上記の研究機関内に副腎偶発腫精査目的で当科に受診された患者様の中で、5年以上の長期フォローアップができた患者の採取した血液検査値・身体所見・画像所見などをレトロスペクティブにカルテより抽出し、データ解析を行う後ろ向き観察研究である。
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む)	① 患者様の身体所見、血液検査データから患者の臨床的について解析を行う。 ②身長、体重、年齢、性別、治療内容、血液検査、臨床症状など、2020年4月～2025年10月に当科に副腎偶発腫精査目的で受診された患者様の中から、5年以上経過観察できた症例 ③研究責任者、研究分担者 ④武藏野赤十字病院 内分泌代謝科 早川 恵理 武藏野赤十字病院 院長 黒崎 雅之
②利用し、又は提供する試料・情報の項目	
③利用する者の範囲	
④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問合せ 〒180-8610 東京都武藏野市境南町1-26-1 武藏野赤十字病院 所属 内分泌代謝科 氏名 早川 恵理 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6771 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525